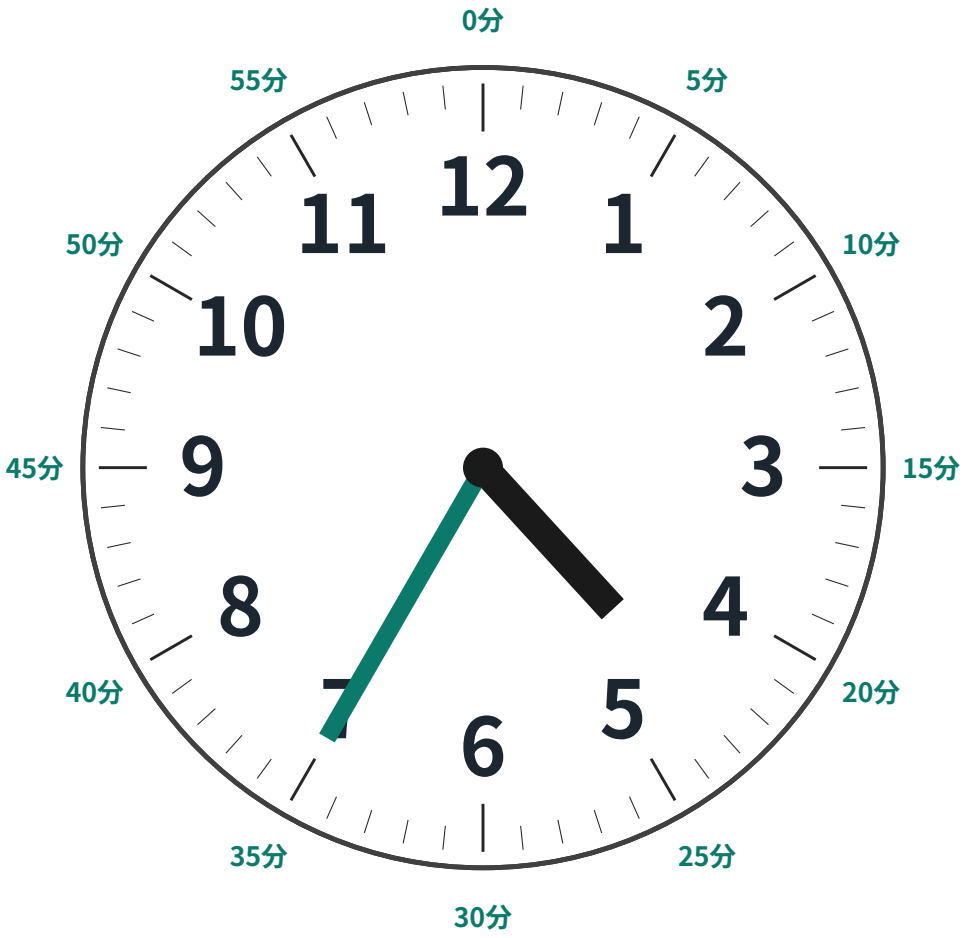
時計の読み方 まとめ

短いはりで「時」、長いはりで「分」を読みます。



- この時計は 4時35分。短いはりは4と5の間なので「4時」、長いはりは7をさしているので 5 × 7 ＝ 35分。
- 短いはり（時）が数字と数字の間にあるときは、小さい方の数字が「時」です。
- 長いはり（分）は、数字1つ分で5分、小さい目もり1つで1分進みます。
- 長いはりが6をさすときは30分で、「何時半」ともいいます。
- 1時間 ＝ 60分、1日 ＝ 24時間。お昼の12時より前を「午前」、後を「午後」といいます。